



発行所 向日町役場 京都府乙訓郡向日町大字寺戸小字中野20 編集・向日町役場総務課 電話京都(931)1111(代表)

# 市制懇談会を終えて



市制問題について住民のみなさんとひざを交えて意見交換を行なった市制懇談会を、九月十一日と二十九日の間に各地域の十一会場で開催した。

懇談会には、町理事者、議会代表者が出席、単独市制への方向づけをした経過、利害得失を説明、これに対する住民の声を求めた。全会場のべ四百十三名の参加者があり、各会場とも熱心に質疑応答、意見交換を行なって全日程を終った。

## 市制を 転機として



中山町長

近年の社会変動に伴う人口の都市集中と都市化現象により、人口三万以上である市制の形態を備えた町の出現をみるに至りました。これらの町における住民の要望に応え、「市」と称して都市的施設の充実に努める」途を開くため、市となるための人口要件五万以上を三万以上に引き下げ、都市的要件などが具備しておれば市制を認めるといふ、地方自治法の一部改正が、昨年三月十二日に二年間の時限立法として施行されました。

## 町長の 説明要旨

### 市制施行 を再確認



木村議長

市制問題について、議会の立場から経過を説明しました。昨年三月十二日に人口三万以上を市にすることができるといふ、二年間の時限立法(地方自治法の一部を改正する法律)が公布、施行されました。本町は、この三万市制の特例措置に該当することから、議会独自に調査研究し、検討するため、市制問題を都市計画促進特別委員会に付託しました。

この特例措置といわれているもので、自由民主党、日本社会党、公明党および民社党の四党共同提案により成立しました。このような三万市制の特例措置の趣旨の通り、市制について検討を重ね、市と町の違い、市となるための要件、市制移行に伴う利害得失を調査し、加えて乙訓郡三町合併の早期実現の困難性をも考慮に入れ、乙訓郡における合併問題については、過去幾たびか話し合いが持たれ討議されてきた課題であります。現在の地方自治制度の基盤が整備されてからの合併については、昭和二十三年ごろより当時の一町九か村の合併また郡を二分化する事などが論議され、二十四年三か村合併による長岡町の誕生、二十五年大枝村久我村および羽東師村の京都市編入、二十八年町村合併促進法による二町三か村の合併協議、三十四年大原野村、久世村の京都市編入、四十二年大山崎村の町制施行により乙訓郡三か村となり今日に至っています。この三町合併についても町長、議長で構成されている町として存続するよりも、市制施行により住民福祉の向上が期待されるとの結論を持ち、市制移行に踏み切りました。ところで、市となるための要件を本町の現状にあてはめてみますと、昨年の国勢調査の結果、すでに人口三万六千九百八十八人を数え、過去十年間に約三倍の人口増加の傾向にあり、人口要件については合致し、乙訓郡総合開発委員会(過密化する乙訓の広域行政について検討する委員会)の定期的な会合のなかで論議されていますが、今なお、早期実現がむずかしい実情となっています。しかし、広域行政の観点から、郡民のくらしを高めるための諸施策については一部事務組合による行政の広域的運営や桂川右岸流域下水道建設のような京都市も含めた計画に基づく広域的処理、その他郡公共用地取得公社による用地確保などをほかり、三町が互いに協調しながら広域的な行政

## 市となる要件と向日町の現況

要件	地方自治法第8条	特例措置	向日町の現況
市となるべき人口要件	最近の国勢調査による人口5万人以上	最近の国勢調査または臨時に行なう指定統計調査による人口3万人以上	昭和45年国勢調査の確定人口 36,988人
町の中心市街地を形成する戸数(連たん戸数)が、全戸数の	6割(60%)以上	7割(70%)以上	94%
商工業などの都市的業態人口が全人口の	6割(60%)以上	7割(70%)以上	95.7%
府の条例で定める都市的施設その他の都市的要件を備えていること。			おおむね適合

三町合併の問題点 結論としては、合併による広域行政が望ましい姿ではありますが、過去および現在の諸状況によって今日の事態を判断してみます。三町合併はなお困難であると考えられています。その他の都市的要件などについても、おおむね適合しています。したがって、この機会に明治二十二年以来の永きにわたる向日町の町制に終止符をうち、市制移行を都市化への一転機として、都市的施設を充実し、一層行政水準を高め、住民の期待に応えるべきであると確信いたします。